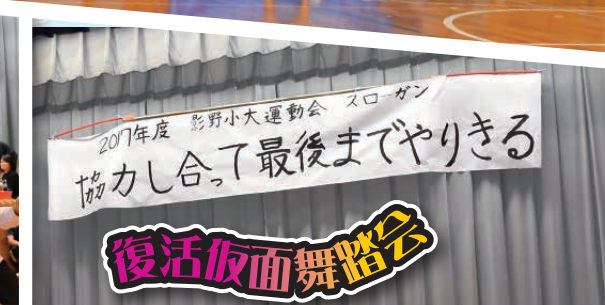




(20歳以上の女性の イス取りゲーム)



紅白綱引き



復活仮面舞踏会



宇宙を舞う 校長先生



影野行進



100m走



紅白対抗リレー

影野小学校 大運動会・楽民ピック22

10月15日、影野小学校の大運動会と今年で22回目を迎える地区民運動会「楽民ピック」との合同運動会が初めて開催され、児童21人と住民ら約300人が参加しました。

あいにくの雨で体育館での競技となりましたが、100m走は低学年以上がスキップにするなど屋内でも競技ができるよう工夫がされ、ユニークな楽民ピックの競技も加わり笑い声と歓声が体育館内に響きました。

運動会で毎年行われる「影野行進」では、住民も含め60人が創立144周年にちなんだ人文字を描き、同校の卒業生らも、先導する児童の後について、笛の合図とともに小旗の振り方を切り替えながら行進し、小学生時代を懐かしんでいました。



玉入れ



釣ったぞ!

あの鐘を鳴らすのは、あなた

季節の風景 11月

小春日和

晩秋から初冬にかけての暖かく穏やかな晴天のことで、移動性高気圧に覆われるなどして発生します。



「小さな春」と書くことから、冬の終わりで春先の暖かい日と思われがちですが、「小春」は旧暦10月の異称で、新暦では11月から12月上旬にあたります。このころの気候と陽気が春に似ているため「小春」と呼ばれるようになりました。日なたは暖かいが、日陰はひんやりしていて、夜は冷え込みます。そして、低気圧が平地に雨を、高山には雪を降らせて日本の東に抜けたあと、大陸から高気圧が張り出して、気圧配置は西高東低型となります。冷たい北風が強めに吹きますが、翌日には大陸高気圧は移動性となり、風は弱まって「小春日和」となります。春の晴天の日や、晩冬から初春にかけての暖かくなり始めた頃に「小春日和」というのは実は誤りです。他にも、「小春空」や「小春風」など、「小春」のつく言葉は、冬の季語になります。

小春日のしづかにしづかに暮れゆけり

山口 青柳

今月の

机上の空論よりも、まずやってみること!

机上の空論よりも、まずやってみること!



▲もはや1ター年には見えない野崎さん

1ター年就農をして10年になる野崎さんは高知市出身。もともと、市内で会社勤めをしていました。農業への思いは、実は野崎さんご本人よりもパートナーのほうが強かったそうです。以前から、棚田オーナーに参加して農業体験のようなどことはしていましたが、もう少し踏み込んだ農業実践をしてみたいということで、パートナーが、県立農業大学校窪川アグリ体験塾で当時実施されていた農業実践イベントに参加。それをきっかけにして、さらに就農への思いが確かなものとなりました。

そして今からちょうど10年前の2007年、農業担い手育成センターで1年間の就農希望者研修を2人で受けることに。当時犬を3匹飼っていたのでセンターにある宿泊棟ではなく、地元の方のお世話で、近隣の空き家に入れてもらうことになり、それが平野地区とご縁になりました。

「1年間の研修が終わり、四万十町内で就農するにあたって(どこで)については困ることはなかったですね。研修中から地元の集落に住むことができ、またしたから。集落の方々は本当によくしてくださりましたし、今も変わらずお世話になっています。10年やってこれたのは地元の方のおかげだと思っています」

野崎さんに、四万十町で就農して間もない方へのアドバイスをうかがってみました。「今



のざき よしのり 野崎 義徳さん (四万十町・平野)